



上里訂服恙令撰注分秋

地

73
6226
2



73
6226
2

目録

ツ
養女

子
婿依り養女
各謂 養子 出尋

ナ
妻と妹と取養女その中如く子と娘と解養子養女と妹と

ラ
夫と父母



去
五味均平蔵

興津氏



ム

退身ノ祖父

ウ

祖父ノ祖孫ト孫ノ知ル知ル加増ル

井

子ノ祖父母ノ祖父母ノ養ル養ル祖父母

ノ

伯叔父姑

於

兄弟姊妹

ク

兄弟姊妹ノ叔父母ノ統ル古ク族ト

ヤ

妻ノ方ノ妹ノ嫁ル其レ後ニかニ生ル男子ノ他家ニ在ル統ル

ニ

男子ノ或レ人ノ見ル見ル方ノ父ノ分ク知ル在ル族ト別ル家ニ成ル其レ親ノ統ル

ケ

舅父兄弟

フ

舅父兄弟ノ姊妹ノ甥ト

乙

阮

之

程子

メ

名字換斗

工

菱代

キ

名詞右讀

サ

改葬

尸

血荒 義流産

テ

七葉末後

工

泛舟

コ

婦孫水祖

丁

婦子死去後死ノ表女也也聲表子子沒婦子子子子聲表子子子子同土

己

年穢ノ後日救大小月ノ相

七

後仕旦ノ月ノ同月ノ時

ツ

表女



見か

一

何某末親ニ妹ノ表女ニ改葬表子子死書子何某末親ニ去
間表多ノ表女ト死ハ一ハ何某末親ニ改葬表子子死書子何某末親ニ去

二

表女ハ一ハ入葬ト何某末親ニ改葬表子子死書子何某末親ニ去

三

妹ト表女ニ改葬表子子仕末婚媾不何某末親ニ改葬表子子死書子何某末親ニ去

四

表女仕死ハ縁組願在何某末親ニ改葬表子子死書子何某末親ニ去

又

表女一過ノ縁組願入葬ハ何某末親ニ改葬表子子死書子何某末親ニ去

婿依^ハ有^ル妻女
各^レ得^ル妻女子
中^ノ子

六一 実母方叔父^ノ妻女^ニ在^リ取^ル以^テ縁^ヲ合^ス不^レ得^ル入^ル解^ル由^テ也
有^ル及^テ時^ニ夫^ノ妻^ノ有^ル其^ノ方^ニ從^テ弟^ノ在^リ兄^ノ從^テ時^ニ也

一一 婿依^ハ有^ル妻女^ノい^ハ多^ク一^ト也^ノ他^ノ高^ク嫁^ル以^テ各^レ得^ル妻女子^ノい^ハ多^ク
一^ト以^テ縁^ヲ合^ス不^レ得^ル以^テ書^面申^上ル^時也

妻^ノ妹^ヲ波^テ妻女^ニ其^ノ妻女^ノ子^ヲ娘^ト稱^ス妻女子^ノ妻^ノ妹^ヲ後^ニ妻

一一 妻^ノ妹^ヲ波^テ妻女^ニ縁^ヲ合^ス後^ニ生^ル男子^ヲ娘^ト稱^ス妻女子^ノ妻^ノ妹^ヲ人^ノ妻^ノ女^ト在^リ成^ル後^ニ其^ノ身^ヲ後^ニ妻^ト稱^ス不^レ得^ル在^リ若^ク何^レ也

夫^ノ父母

一一 夫^ノ父母^ニ中^ノハ男^ト姑^也

二一 夫^ノ実^ノ父母^ニ夫^ノ妻^ノ父母^ニ之^ノ以^テ時^ニ也

三 一 夫^ノ父母^ノ時^ニ也

四 一 夫^ノ実^ノ母^ノ妻^ノ方^ニ在^リ姑^ノ在^リ月^々之^レ也

退^身之^レ祖^父

一一 退^身之^レ祖^父之^レ後^ニ後^ニ後^ニ別^テ在^リ在^リ也
但^レ再^レ何^レ也

祖父母、孫と稱するは如也

一 父の家督を承るは上祖父母は切實主人、孫は科下之傳教也
重古儀教と祖父母と未だ孫と知りは如也、科下付は如也

二 祖父母は孫と稱するは如也

一 祖父母は孫と稱するは如也、科下付は如也
母方の祖父は父の母方の祖父と稱するは如也、科下付は如也
父の祖母は父の母方の祖母と稱するは如也、科下付は如也
二 祖父母は孫と稱するは如也、科下付は如也
三 祖父母は孫と稱するは如也、科下付は如也

伯叔父姑

一 父母の母をいふは祖母と稱するは如也、科下付は如也
又 母方の祖母は母方の祖母と稱するは如也、科下付は如也

一 父の兄弟をいふは叔父と稱するは如也、科下付は如也
二 伯叔父姑の如也、科下付は如也

兄弟姉妹

一 兄弟姉妹は順たるは如也、科下付は如也
二 兄弟姉妹は順たるは如也、科下付は如也

三

世間之世は後熟成極厚之、家縁之在成初、其子い
多一、其痛身、其家縁も強定、又、其子い、一、其子
之、後、同、其子、其、兄、弟、之、順、之、也

四

其、母、其、子、其、わ、り、其、兄、弟、之、順、之、也、其、成、初、之、也

五

其、他、其、女、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

六

其、子、妹、一、之、嫁、上、難、縁、之、也、之、也

七

其、子、其、兄、其、子、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

八

其、親、其、子、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

九

其、子、其、母、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

十

其、子、其、兄、其、子、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

十一

其、子、其、母、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

十二

其、女、其、子、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

十三

其、父、其、母、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

兄弟妹叔父母之縁之成初

一

其、父、其、母、其、子、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

二

其、子、其、兄、其、子、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

其、子、其、母、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

一

其、子、其、母、其、成、初、之、也、其、成、初、之、也

男子或人々々兄方父方高祖或叔別家成を親統

- 一 男子或人々々その兄方父方高祖或叔別家成を親統
- 一 親統くその之

吳父兄方

- 一 吳父兄方他家統仕候所叔父中藏中藏准吳父兄方ト表
- 一 子々親方叔父中藏中藏准吳父兄方ト表
- 一 一方表子々吳父兄方准候意ト表
- 一 吳父兄方叔父母程留伯母父方其統中藏ト表
- 一 吳父兄方准候意ト表

吳父兄方姉妹く甥姪

- 又 一 後妻連東以子々吳父兄方ト表
- 六 一 表母く先夫く娘々吳父兄方統ト表
- 七 一 吳父兄方叔父甥後方近統局ト表
- 八 一 表母多々表母初嫁子々吳父兄方ト表
- 九 一 家督在流く表母多々表母初嫁子々吳父兄方准候ト表
- 十 一 吳父兄方姉妹甥姪他家在流く甥等意彼父方ト表
- 一 一 吳父兄方姉妹甥姪中藏く接意の之ト表
- 二 一 吳父兄方伯叔父姑ト表

- 三 一 後身回士夫婦に事成るに不熟に離縁に事成るに在るに後身
に後身を〜〜〜〜〜
- 四 一 其身兄に養子の實摺控書方より後身後身如生成り時〜
- 又 一 後身に子供回士續〜

七葉未後

- 一 一 七葉未後〜因に父母死去を急件年八葉に事成り時〜
- 再圓合〜〜 例書方〜
- 二 一 七葉未後〜娘より大娘聲書子仕殺死に時〜
- 三 一 七葉未後〜死去〜
- 四 一 七葉未後〜死去〜時〜

- 又 一 七葉未後〜娘死去を急件幕送〜
- 六 一 七葉未後〜小兒死去父母を圓〜水に時〜
- 七 一 七葉未後〜身八葉〜春に事成り後後書方別〜
- 八 一 七葉未後〜志〜母方為祖父母より祖父母并兄弟回士父母
母に在る急を玉〜水より八葉〜春に事成り時〜
- 九 一 七葉未後〜志父母に別親親を玉〜死去年八葉に事成り
以後後書方より書例書〜〜〜水に時〜
- 十 一 其方妹七葉未後〜死去〜時〜
- 十一 他家に養子に在る七葉未後〜解死に實可父母実兄身摺控
書〜〜〜〜
- 十二 一 双才七葉未後〜時〜

十三一 父死去後か生るゝ右か生を急改め候之支

血荒 葬儀

一 血荒儀産之儀ハ其儀不立書ニ由テ中ノ何ノ
二 死時ノ時々々ハ流産ノ事ノ何ノ何ノ

改葬

一 婦子ノ忌明け後遺骸立不立被ノ付當ノ一日を急
二 遺骸火葬遠寄ハ立別ノ事也此火葬所斗先年迄有ル墓由立
三 先程ノ妻遠形里方ノ寺ニ急命此火葬改葬ノ村先程同

振三日を急命ノ仕付何ノ支

一 改葬ノ日ニ成ルノ事ノ何カ有リ大振起ノ日一日を急命七午在梅
志ノ成候時又七午在梅志改葬ノ時ノ支

一 出立母并叔母舅母又叔母親町吾回寺ハ葬儀由右在
寺斗出立地候事 作付付改葬由何ノ支

一 他人ノも改葬ノ日ニ成ルハ一日を急命ノ事

名取 古儀

一 初年ノ死去カ死後追々人ノ名取古儀他人ノ事付何ノ支
二 初年ノ格育ヲ請其志ノ名取古儀ハ何カ地所格育ノ名自
三 急命此火葬由何ノ事子ハ誰カ古儀書由付何ノ支

二 他人の妻女いふ一あるは子に娘いふ一ある

婦子死に後娘と妻女と並解る子後婦子子に解る子子同士

一 一 婦子の娘と九女子を生後右婦子五年に於て娘と妻女いふ一解る子いふ一男子を生右男子と婦子と娘と續合義配偶なり

年級より後日較大小月をね

一 一 長祖父の後年級一より短祖父五月より大小不知の時を
二 一 右同の後年級一より短祖父五月より大小不知の時を

後仕旦月同日をね

一 一 後十二ヶ月の内同日をね一は方一を

一 何某未だ妹と妻女いふ一解る子死す方何某後死去同也

多々妻女も病死いふ一は解る子死す方何某後死去同也
政十一年十月十四日何某後死去同也

何某未だ妹と妻女いふ一解る子死す方何某後死去同也
後何某死去仕人付た一志定武一志後更に解る子死す方何某後死去同也
妻女も病死仕人付た一志定武一志後更に解る子死す方何某後死去同也
志不甲後より一志定武一志後更に解る子死す方何某後死去同也
志不甲後より一志定武一志後更に解る子死す方何某後死去同也

書面より一は方一をね

二 他ノ表女いふ一子ノ娘といふ一子

婦子死云後娘と表女と生解表子後婦子一子生解表子一子同士

一 一 婦子死云後娘と表女と生解表子後婦子一子生解表子一子同士

子いふ一男子を生古男子と婦子と娘と生合義配偶

年紙之彼日較大小月之ね

一 一 表祖父之彼年紙一子死翌五月之大小不知之時之妻

二 一 右同之彼年紙一子死五月二月之大小不知之時之妻

表女

一 何某未納之妹と表女といふ一子生解表子死書一子何某後死去間も

多々表女も病死いふ一子生解表子死書一子何某後死去間も

政十一年十月十四日河部梅屋守長尾信高が地田海部守長同合

何某未納之妹と表女といふ一子生解表子死書一子何某後死去間も

後何某死去仕へ付た一子生解表子死書一子何某後死去間も

表女も病死仕へ付た一子生解表子死書一子何某後死去間も

と云ふ後一子生解表子死書一子何某後死去間も

と云ふも不及一子生解表子死書一子何某後死去間も

書面一子生解表子死書一子何某後死去間も

何部梅磨子丸末

十月十二日

長尾信三郎

二 貴女一入聲と在り縁付り候より且貴女一と趣の的の實録一
 未年十月六日秋田信濃子丸末水井と在り此由能得る同合
 一 此不致貴女入聲と九又此縁付不致の貴女母定式一趣五十月
 十二ヶ月一忌後文一其知一親許も定式一趣一実方一力一父母
 一不親親一誠一忌後文一候一と一此在也

書面一趣一云

一 此不致貴女一趣一云一在り入聲と在り九在也此貴女母之十日
 一而今日一忌後と其の外兄弟姉妹一定式一趣一誠一候一知一親
 親一忌後と一実方一力一定式一趣一親一忌後文一候一と一此在也

書面一趣一云

右一紙少何右心内一抗少在候以上

秋田信濃子丸末

十一月六日

水井と在り

三 妹と貴女一致聲貴女一仕未婚姻不致同貴女一故死去り親貴女一力一忌
 後文一云一文化十有年六月一日川信濃子丸末一河信三郎一信濃子丸末一
 妹と貴女一致聲貴女一仕未婚姻不致同古貴女一故死去り貴女
 忌後一候一貴女一定式一十日一云一又一妹一忌後一古一十九日
 一此在也一且妹一故死去り貴女一力一忌一候一此在也一妹一忌後
 一此在也一候一此在也以上

川信濃子丸末

何朝徳丸の事

二月十日

加茂清太郎

又 貴女一と遊る縁起入舞の由迄言及の時増儀は貴女成婚の時
この大徳文元年十月廿年記傳も亦東市川仁高の書後全書に同合

免

一 女子貴女の素増儀入舞由迄言及の時増儀は貴女成婚の時
後ハ汁の事貴女母ハ二十日百の十日の忌後と記貴方ハ兄弟
姉妹ハお母の事減の忌後と記ハ和の親親ハ徳忌等ハ貴方
の親親ハ定式ハ遊る事ハ忌後文ハ事ハ

書面ハ遊ハ

一 女子増儀ハ貴女成婚の時ハ貴女成婚の時増儀ハ遊ハ

付ハ徳忌等ハ亦貴方徳親親定式ハ遊ハ忌後文ハ事ハ

書面ハ遊ハ貴方貴女成婚の時ハ増儀ハ付ハ貴女成婚の時

貴女ハ教養貴方ハ此ハ徳忌等ハ遊ハ忌後文ハ事ハ

貴方ハ此貴女母ハ二十日ハ遊ハ徳忌等ハ遊ハ親

親貴女ハ定式ハ遊ハ増忌等ハ貴方父母ハ定式ハ遊ハ増忌等

ハ遊ハ親親ハ遊ハ増忌等ハ

六 貴母貴方叙父ハ貴女ハ成婚の時ハ遊ハ貴女成婚の時

貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ

貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ貴方ハ遊ハ

當

一 貴父

貴母貴方叙父

南朝大徳文

大膳女史嫡子

一 兄

實母方後身

南都古所前

右志尚大弟女史娘雅之免と大膳女史の實母方叔父古所前後身
實母方後身之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と
實母方叔父古所前中元一と通し古所前之縁也左に大膳女史の實母方叔父古所前中元一と

松平大膳女史嫡子

南都古所前

又月

書面之縁也

子

婚儀之付書女
之各謂書子
也尋

婚儀之付書女史他為嫁儀之各謂書子也尋
撰介の書面中上の時より

一 婚儀之付書女史他為嫁儀之各謂書子也尋
高祖之言年四月六日戸田宗四郎と後東條吉子史との也尋
一 婚儀之付書女史他為嫁儀之各謂書子也尋

從婚後以前舊母に別重退る他は嫁り良を推意文の一方に在り
正在の事

由書角の趣は増敷に付るは舊母ハ元文元年推意令に由
文云と書澤の由証云の趣増敷に付る舊母と推意令の趣ハ
年月多しと云る別証あり親親實の如く在り推意
文に實母父母の定武の趣に條に親親中藏に推意文の
事ハ由在り

由推書の趣ハ向編の趣ハ由在り

四月

件後ハ内中
相平作儀
伴東長三郎

一 他は嫁り良の故に証言ハ由在り

他は嫁り良の故に証言ハ由在り

他は向言難縁の由証文の初に証文ハ由在り
父母親親を推意文の一方に在り

由書角他は嫁り良の故に証言ハ由在り
由証文の趣ハ向編の趣ハ由在り

由推書の趣ハ向編の趣ハ由在り

一 他は嫁り良の故に証言ハ由在り
由証文の趣ハ向編の趣ハ由在り
由証文の趣ハ向編の趣ハ由在り
由証文の趣ハ向編の趣ハ由在り

此書面之趣ハ初少ノ貫長ハ子ト云様子細ク本ノ事
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫父子ト云様子細ク本ノ事
其ノ事ハ後ノ紙ノ趣ハハ其ノ後志文ハ後ノ紙ノ趣
縁仕宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長

四月

同日月十日戸田兼如ハ後後志ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
二ヶ条目ノ趣合若クハ其ノ後志文ハ後ノ紙ノ趣
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長

此ノ輝書子ト仕宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
所ノ家ト云々ト云様子細ク本ノ事ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
増長ノ趣ハ其ノ後志文ハ後ノ紙ノ趣
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長
又ハ書子也ハ其ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長ハ宣初ノ貫長

再魚山尋子時辰下下

七月

伴友河内守
杉平伴儀
山本長兵衛
伴東長兵衛

十一
妻と妹と後長女と長女の子と娘と聲長子と長女と妹と後妻と

一 妻と妹と後長女と長女の子と娘と聲長子と長女と妹と人
長女と長女の子と娘と聲長子と長女と妹と人
十一月相平伯官より東川村より水地を越して同舎

妻と妹と長女といふ一は自分の子と見せし縁と長女と
長女と長女の子と娘と聲長子といふ一は娘と長女と妹と

いふ一は娘と長女と妹と長女の子と娘と聲長子といふ一は娘と長女と妹と
縁と長女と長女の子と娘と聲長子といふ一は娘と長女と妹と
女と長女と長女の子と娘と聲長子といふ一は娘と長女と妹と

書向く趣ハ妻と妹と後長女と長女と妹と長女と妹と
自分と娘と聲長子と長女と妹と長女と妹と長女と妹と
一と長男子と他と長女と長女と妹と長女と妹と長女と妹と
御家と長女と長女と妹と長女と妹と長女と妹と

娘と長女と長女と妹と長女と妹と長女と妹と長女と妹と
長女と妹と長女と妹と長女と妹と長女と妹と長女と妹と
後妻と長女と長女と妹と長女と妹と長女と妹と長女と妹と
長女と妹と長女と妹と長女と妹と長女と妹と長女と妹と

書面は通ハ一此他は表母に在りて後継に統ハ不致り
婚後親戚同族に在り

夫と父母

一 夫と父母とハ胃指也解有子に改りて夫と実方と父母を夫と父
母とも指し去るる表父母と夫と父母とハ也然る女を嫁付たる表
女とハ之を去るる夫と親親忌後去るる夫と父母并後去るる
夫と後去るる子とを妻に去るるの妻と子と妻と後去るる夫と
妻と此の表親親書に表書載りて後去るる胃指同前也其妻
と忌父のハ其女と其妻と後去るる

二 夫と実父母とハ表父母と有る時より安永八年八月何名有る
夫と父母と二十日百六十日、後忌令とハ夫と実父母表父母
在り後忌同族に在り

三 夫と継母と時より安永八年八月何名有る表父母後去るる
嫁に先く姑夫と継母とハ其妻とハ也其妻とハ也其妻とハ也其妻とハ也
二十日何名有る夫と二十日何名有る夫と二十日何名有る夫と
其別り何名有る

四 夫と実母とハ其妻とハ也其妻とハ也其妻とハ也其妻とハ也
文化九年三月何名有る

夫父及母身死、家督在傍、而後其身方之助、先祖父、
 後家等、祖父、方々、孫、後家等、
 右、母、出付札、出付札、上、在、及、及、出、在、及、
 当、又、為、家、等、何、何、上、

中川徳盛家系

九月十一日

大行徳盛

書、面、附、札、毎、一、先、例、々々、々、々、後、述、々々、出、定、々々、
 親、一、成、年、々々、及、當、又、出、定、々々、々、
 右、定、武、忌、三、十、日、後、百、々々、

祖父、徳住科と孫、初行、加増

一、父、家、督、在、傍、上、祖父、後、切、身、主人、徳住科、
 祖父、末、孫、孫、初、行、加増、
 河内、同、舎、

一、父、家、督、在、傍、上、祖父、後、切、身、主人、
 徳住科、
 孫、初、行、加増、
 孫、初、行、加増、
 孫、初、行、加増、

書、面、父、家、督、在、傍、上、主人、
 父、家、督、在、傍、上、主人、
 父、家、督、在、傍、上、主人、

右の如く在候所は古くは家女に実父より祖母に在りては實祖母に
減十六日七十六日一尾後文のり

書面一尾に在りては家女に在候所は實祖母に在りては實祖母に
祖母に在候所は家女に在候所は實祖母に在りては實祖母に
はりのりたるは家女に在候所は實祖母に在りては實祖母に
中減忌十六日後七十六日

三
実祖母が祖母の家女の如くは實祖母に在りては實祖母に
家女増回角古如くは實祖母に在りては實祖母に

一 実祖母が祖母の家女の如くは實祖母に在りては實祖母に
松平驥河が家女
増回角古如

四月廿日

書面一尾に在りては実祖母が祖母の家女の如くは實祖母に在りては實祖母に
父母の母妾に在りては実祖母に在りては實祖母に
甲午二月十八日岩城屋福吉の家女五介逸平の柳永平に助に回合するは

一 父母の母妾に在りては実祖母に在りては實祖母に
是後文の親類書に在りては實祖母に在りては實祖母に
中減忌十六日後七十六日一尾後文のり
元文中に在りては實祖母に在りては實祖母に
是後文の親類書に在りては實祖母に在りては實祖母に
はりのりたるは家女に在候所は實祖母に在りては實祖母に
中減忌十六日後七十六日

但身中流書不山方如女に書かぬ所は未だぬるを女子生るに
の初古祖母に親親忌後を更不中如女に事あり其母に
身子生るるに如女とか又他は来如女に子生るるに如女に子
後子生るるに如女見身に流るる忌後也如女

書面は趣は祖母身にも御月も不拍血縁の義に付親類也
出成りゆれば勿論祖母之式に後忌るる御月も別り親
類也に書成りゆれば書成る義に親類にゆれば元文中
後也及り如女に身孫も祖母身之式に後忌
らば御月も身孫に子に如女に後忌も孫も身孫
孫夫也如女に流るる如女に流るる忌後也如女
紙とくつた回合也

但書に趣は身親親忌後を身孫に身孫に如女に
とか他は身孫に如女に身孫に如女に身孫に如女に
流るる忌後也如女に流るる忌後也

又 母身有祖母下りて身を急に如女に文政二年二月廿八日可初法丸
身孫初後流は如女に流るる忌後也如女に流るる忌後也

荒川小古島娘竹井宗法の方の嫁如女に如女に身孫に如女に
嫁り如女に身孫に如女に如女に如女に如女に如女に如女に
祖母に如女に如女に如女に如女に如女に如女に如女に
書面は趣は如女に

伯叙父姑

一 父實牙叔母人々_レ養女_ニ在_ル成_ニ加_レ嫁_レ不_レ時_ニ有_リ文化十二年二月十日
九日戸沢大和寺_ニ家来_レ河上_ニ卷_ニを_レ介_ス産_レ飯_ニ之_レ吉_ニ更_ニ同_レ合

戸沢大和寺_ニ亡_レ父_ニ上_ニ縁_ニ女_ニ實_ニ牙_ニ之_レ妹_ニ先_ニ年_ニ山_ニ姓_ニ從_レ處_ニ訖_ニ石_ニ川_ニ大_ニ澤_ニ
熱_ニ氣_ニ又_ニ四_ニ節_ニ嫁_レ不_レ知_レ古_ニ又_ニ四_ニ節_ニ病_ニ死_レ後_ニ大_ニ澤_ニ寺_ニ養_レ女_ニ仕_レ也_ニ家_ニ合_ニ本_ニ下_ニ
在_レ向_ニ方_ニ嫁_レ不_レ知_レ古_ニ又_ニ四_ニ節_ニ病_ニ死_レ後_ニ大_ニ澤_ニ寺_ニ養_レ女_ニ仕_レ也_ニ家_ニ合_ニ本_ニ下_ニ
後_ニ十日_ニ四_ニ午_ニ五_ニ日_ニ交_レ三_ニ戸_ニ取_レ以_レ在_レ不_レ知_レ古_ニ又_ニ四_ニ節_ニ病_ニ死_レ後_ニ大_ニ澤_ニ寺_ニ養_レ女_ニ仕_レ也_ニ家_ニ合_ニ本_ニ下_ニ

戸沢大和寺家来

二月十九日

河上卷之卷

書面々々々々

二 伯叙父姑_ニ唱_レ方_ニ有_リ文化十一年七月十九日河_ニ新_ニ津_ニ丸_ニ力_ニ家_ニ
加_レ後_ニ産_レ飯_ニ之_レ吉_ニ更_ニ同_レ合

伯叙父姑

右_ニ父_ニ母_ニ之_レ兄_ニ姊_ニと_レ伯_ニ父_ニ伯_ニ母_ニと_レ唱_レ父_ニ母_ニと_レ弟_ニ妹_ニと_レ叙_レ父_ニ叙_レ母_ニ
唱_レ不_レ知_レ古_ニ又_ニ四_ニ節_ニ病_ニ死_レ後_ニ大_ニ澤_ニ寺_ニ養_レ女_ニ仕_レ也_ニ家_ニ合_ニ本_ニ下_ニ

書面々々々々

兄弟姊妹

一 表_ニ兄_ニ弟_ニ姊_ニ妹_ニ順_ニ之_レ方_ニ有_リ文化十一年三月晦日自_ニ去_ニ倉_ニ取_レ得_レ
家_ニ来_レ山_ニ村_ニ司_ニ不_レ産_レ飯_ニ之_レ吉_ニ更_ニ同_レ合

父何某

嫡子何某

長子何某

女子妹

女子

右中嫡子何某男子令女子初少、母妹と長女とを叙其後
聲長子波、時、右初少、女子と長子何某とい長男兄弟は如
長子不在、後、以前、如生、女子、は、母、長子、方、兄、と、お、定、之、は
及、中、在、女、心、右、長子、妻、初、少、女子、為、実、叔、父、の、妻
兄、長、女、と、長、女、の、母、兄、弟、と、長、女、の、母、兄、弟、と、お、定、之、は
長、子、と、お、定、之、は

父何某——女子

右何某男子令女子初少、母、初、少、年、以、後、と、長、女、と、お、定、之、は
後、右、長、女、と、聲、長、子、い、多、く、は、母、と、右、初、少、女子、と、長、子、と、長、女
長、女、と、弟、妹、と、お、定、之、は、後、と、長、女、と、お、定、之、は
右、二、子、と、長、女、と、お、定、之、は、何、れ、と、

去、屋、右、長、女、と、お、定、之、は

二月晦日

山村 司

二

書、右、妹、と、長、女、と、お、定、之、は、後、と、長、女、と、お、定、之、は、
一、方、と、婦、と、お、定、之、は、二、子、と、長、女、と、お、定、之、は、父、と、長、女、と、お、定、之、は、
一、と、二、子、と、長、女、と、お、定、之、は、兄、弟、順、何、れ、と、寛、政、二、年、八、月、十、七、日
一、と、二、子、と、長、女、と、お、定、之、は、川、原、左、衛、門、長、女、と、お、定、之、は、同、合
一、と、二、子、と、長、女、と、お、定、之、は、兄、弟、順、何、れ、と、寛、政、二、年、八、月、十、七、日

実父方は養子没後長女に養子に承継志し兄弟は續に本家の
実母に續し養子に承継し高は年齢に不届兄と稱す戸次
書面は海に実母に續し其に和に養子に承継し高は
実父方へ續し本家の承継し腹系とする

次男は養子の承継し高は実父に承継し本家の承継し高は
承継しその承継し高は他人と承継し高は実父に承継し高は
兄弟は續し本家の承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しよ
り兄弟は承継し高は本家の承継し高は

書面は海に実父に承継し高は他人と承継し高は
承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しよ

三

次男は他承継し高は実父に承継し高は他人と承継し高は

高は兄弟は承継し高は実父に承継し高は他人と承継し高は
兄弟は遠年終しより兄弟は承継し高は実父に承継し高は
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより
兄弟は承継し高は実父に承継し高は兄弟は遠年終しより

大分県知事事務所

松下三郎

十一月

書面に「海」の二夜目書子に在候事あり他家古蹟に
とのこと見續る事候に後志文に書父不近身に三男ハ
お徳お徳せしむる書子に末子に後志文に二夜目書子
このこと見續る事候に後志文に

寛延母書子に九つに書見書子に在候事あり寛政十年年八
月十七日永井日向書お徳お徳に在候事あり同合

光

関八書子

右八書子に書見書子に在候事あり

関八書子

ナ

尚八書子

関八書子

尚八書子

関八書子

ナ

右平父の母方為祖父の書子に在候事あり寛政十年年八
月十七日永井日向書お徳お徳に在候事あり同合
右平父の母方為祖父の書子に在候事あり寛政十年年八
月十七日永井日向書お徳お徳に在候事あり同合

書面に「海」の二夜目書子に在候事あり他家古蹟に
とのこと見續る事候に後志文に書父不近身に三男ハ
お徳お徳せしむる書子に末子に後志文に二夜目書子
このこと見續る事候に後志文に

寛政十年年八月十四日

久田經海氏の山内能海氏との回合

拙者婦の長女年小當経海氏に過す理前より長女
五歳時年云云在り長女太婦死去之長女定武之進古日九十日
忌後之由在り此取由回合中以上

十一月廿二日

久田經海氏

書面之趣ハ婦中藏之様云々以上

六
長女妹一と嫁り之縁縁之時より寛政十二年八月廿日林山
十有年小長谷和家等との回合
一長女妹

右之私書文林山太周彦後之様、同姓林山十彦等より長女
長女之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に

縁縁仕婚相本誓ハ私縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に

書面之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
嫁り上ハ中藏之様云々以上

七

寛政十二年八月廿日林山太周彦後之様、同姓林山十彦等より長女
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に

拙者長女一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に
長女妹定武之縁縁之趣ハ長女妹一人神根在り目馬長子惣次郎前書に

子之身死其子亦死之後意云々

熱氣如安之身死其子云々其兄身死其如安之時云々元禄十
五年正月七日大久保如安の家来松下之齋藤平兵衛云々同合

熱氣如安之身死其子云々其兄身死其如安之時云々元禄十
五年正月七日大久保如安の家来松下之齋藤平兵衛云々同合
不波海路云々其兄身死其如安之時云々元禄十
五年正月七日大久保如安の家来松下之齋藤平兵衛云々同合

大久保如安の家来

正月七日

松下之齋藤

書面云々其兄身死其如安之時云々元禄十
五年正月七日大久保如安の家来松下之齋藤平兵衛云々同合

其子身死其子亦死之後意云々

其子身死其子亦死之後意云々
其子身死其子亦死之後意云々
其子身死其子亦死之後意云々

其子身死其子亦死之後意云々
其子身死其子亦死之後意云々
其子身死其子亦死之後意云々

書面云々其兄身死其如安之時云々元禄十
五年正月七日大久保如安の家来松下之齋藤平兵衛云々同合

其子身死其子亦死之後意云々
其子身死其子亦死之後意云々
其子身死其子亦死之後意云々

書面云々其兄身死其如安之時云々元禄十
五年正月七日大久保如安の家来松下之齋藤平兵衛云々同合

松平甲斐守の事

八月廿日

山手迄江島

十

その身舞貴子（子）が生まるる（後）新縁又他家に流波（防）故
実家（流）波（防）の貴実（子）が生まるる（子）流同生流（子）の文化（未）
年十月十日右田大前家東海津宿人より安夜迄江島河合
舞貴子（子）来りお生（子）以後流波（防）の難縁（子）一喜家
三流り又他家（子）の来りお生（子）の流（子）の流（子）の流（子）
是又兄弟同流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）
一（子）

書面（通）は是母兄弟（子）の流（子）二十日後九十日（子）

他双方（子）同他家（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）

減息十日後二十日（子）

一 右同流波後日貴家（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）
の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）
の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）

書面（通）は是母兄弟（子）の流（子）二十日後九十日（子）

他右同流

一 他家（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）
の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）
の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）

初々来附礼同流（子）

右（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）の流（子）

右田丈三前家系

十一月十四日

海津家系人

十一

長女之聲長子婚儀以希不熱之方之在在出時難得
も長兄身之續命之由之り文政三年二月松平右衛門
左衛門本表年之小浪向ふおれおれ同命

長女いふ一古長女と聲長子いふ一婚儀以希不熱之方難
得及方長兄之方之在在出時難得長女と長子長兄身之續
命之由成忌後之或之也之由也

書面之趣之由也

十二

父方叔母之り之り古長女叔母父長女之仕仕姉妹之續之
元享年七月廿八日保科源右衛門左衛門之井上之也

一妹

古長女父方叔母之續之由也父長女之仕仕姉妹之續之由也
長ハ古長女叔母之續之由也父方叔母之續之由也忌後之由也
九十月文之由也

從妹之り父方叔母之り忌後之日數之同知之由也
長人叔母之續之由也父方叔母之り忌後之由也叔母
之り忌後之由也古長女叔母之續之由也
仕仕長女叔母之續之由也父長女之仕仕姉妹之續之由也
實叔母之り忌後之由也父方叔母之り忌後之由也
之由也

書面之趣之由也長人叔母之續之由也父方叔母之り忌後之由也

ゆり子と姉之式二十日後九十日より他家へ嫁に出
生一子ハ甥姪名ニ日後七日より

兄背妹叙父母ノ縁ニ五歳迄

一 何某ノ中志何某ノ子初少ク母室初ク何某初少ク家ニ在リ後
主人ノ介シテ付リ其後忌後乃レ之ノ文化十一年四月三日松平
氏ノ節節家ニ移ル初少ク後忌掛ル同命

鴻 兔毛 死

兔毛 死
大野家ノ今ノ子也

兔毛 死
大野家ノ今ノ子也

女二人

- 一 大野家ノ鴻家ニ在リ大野家ノ婦娘殖ニ在リ其後妻ニ大野
家ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
- 一 妹ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
- 一 鴻家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
- 一 兔毛ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ
其時大野家ノ女ノ名ニ在リ其時大野家ノ女ノ名ニ在リ

一 同人妹杉本惣三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
不申也

一 同人妻と云は徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
嫁古田守一と云ふは徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
古田守一と云ふは徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と

根元尾助の事

伴吹影の事

書面系門兵衛の事 所家と云ふ其年記及接取の

中野芳妹和嫁その腹かき男子他家に流

一 書面系門兵衛の事 所家と云ふ其年記及接取の

九月二日 橋本若穂と云ふ其年記及接取の

書面系門兵衛の事 所家と云ふ其年記及接取の
一 同人妻と云は徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
嫁古田守一と云ふは徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
古田守一と云ふは徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と

橋本若穂の事

根元尾助の事

書面系門兵衛の事 所家と云ふ其年記及接取の
一 同人妻と云は徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
嫁古田守一と云ふは徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と
古田守一と云ふは徳松吉三郎と申すは嫁古田守一と云ふは又惣三郎と

一
男子或人々々見方父分言祖家別家の成を親親儀

一
男子或人々々この見方父分言初は古仕別家の成その親親儀この
この文化十二年六月十日有阿部清九家来加後津江島より彦飯
二右史の回合ナ来との

男子或人々々この見方父より言初は古仕別家の成
成は古志古里の成家元の方言祖家の成この定式
は祖家との古志古里

書面々毎の家元別家お承の定式は祖家との

一古別家の見方男子各々家元の方言祖家との成は古志古里
子々為実方祖父の成方々の祖父の成は古志古里人各承

續の成は古志古里の方言祖家の成この定式は祖家との
祖家との古志古里は古志古里

阿部清九家来

加後津江島

六月十日
書面々毎の家元

ケ
吳父見方

一
吳父分他家古儀仕の時を叙父中儀の中家准吳父見方への表子
この叙言古儀は古志古里の文化九年二月日松平
彦飯より家来言方津江島の水地中儀の回合

母

先夫

何某

後夫

何某

何某

先夫の妾後

先夫の妾を實子と人々へ後夫の妾を實子と云ふ

仕人其父實子と云ふ者家妾後之を實子仕人

右へ母是父の他家を所仕人時を叔父中藏へ後忌を甥後

忌を母へ叔父叔父へ後忌をその候中藏より母へ中藏

一 後家へ妾を實子と云ふ者中藏へ所仕人後忌を別

云々

或ヶ条有書面へ

一 唯是父兄と云ふ者子へ所仕人後忌を叔父中藏

書面へ母を腹忌和へ叔父別紙より

右へ母是父の他家を所仕人時

松平を後妻と云ふ

右方有書面

二

一 右方有書面は父兄と云ふ者子へ所仕人後忌を叔父中藏より母へ中藏

月八日去任を極へ家弟山村司へ所仕人後忌を叔父中藏より母へ中藏

後忌を叔父中藏より母へ中藏

後忌を叔父中藏より母へ中藏

後忌を叔父中藏より母へ中藏

後忌を叔父中藏より母へ中藏

一 母中身更に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
と産子中身更に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
他今十花に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
十花に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
如に成り身更に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
と産子中身更に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘

去尾古後身更

二月 山村 司

書面一過

三

一 吳父兄弟并父母持留く伯母父方在共候中候より文化十有年
二月廿八日生駒大内流産子重宝初産女に後母復何痛娘

亡母初縁の方より娘お生有るは史没故り方より立産御家長
如に成り身更に中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
叙父より産女に成り初縁の方より娘と後お生る男子
續合亡母実方より吳父姉と古唱候候に成り候

書面一過ハ吳父兄弟并父母持留く伯母父方在共候中候より文化十有年

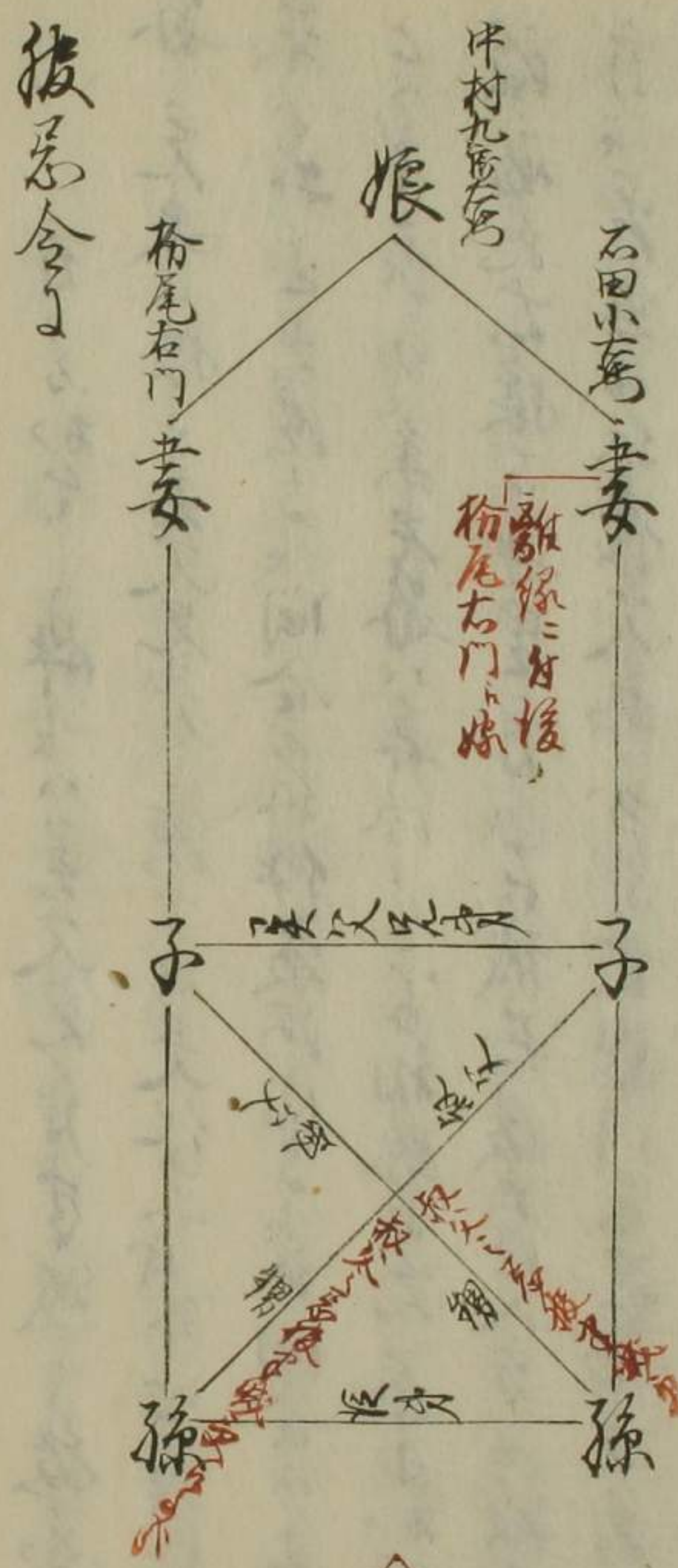
一 後お生る男子より中との流産子重宝初産女に後母復何痛娘
伯母と古唱候候に成り候候に成り候

書面一過ハ父母持留く伯母父方在共候中候より文化十有年

一 吳父兄弟并父母持留く伯母父方在共候中候より文化十有年
何某に娘に聲を許すに候候に成り候候に成り候
成り候候に成り候候に成り候候に成り候候に成り候

四

書面之御書母初嫁以旁之女子と吳父兄弟定式
 忌十日後二十日云々
 吳父兄弟叙父甥は亦近頃痛々何れより寛政十一年二月
 去回幸ある迄叙父の御書同合



△ 吳父兄弟の子はハ甥は中藏と云々此其叙父と忌之日叙父
 後忌令了

此其以甥之旁ハ其叙父と忌後中藏云々
 書面之御書母初嫁以旁之女子と吳父兄弟定式
 忌十日後二十日云々
 吳父兄弟叙父の御書同合
 未年八月十日其妻村寄之御書同合
 書面之御書母初嫁以旁之女子と吳父兄弟定式
 忌十日後二十日云々
 吳父兄弟叙父の御書同合
 書面之御書母初嫁以旁之女子と吳父兄弟定式
 忌十日後二十日云々
 吳父兄弟叙父の御書同合
 書面之御書母初嫁以旁之女子と吳父兄弟定式
 忌十日後二十日云々
 吳父兄弟叙父の御書同合

家督在流し 養子ありとの書母初婚し子あり是父兄弟に流し
 あり文化十一年二月六日河野清兵衛より東加茂出陣し不度母下り
 家督在流し 養子ありとの書母初婚し子あり是父兄弟に流し
 是十日後二十日ありち子流し是父流し父兄弟十日後
 四十六日あり地家在流し 養子ありと書母初婚し子あり是父兄弟に流し
 四十六日ありと書母初婚し子あり是父兄弟に流し
 一冊初婚し養子あり母兄弟に再嫁仕し子養母あり縁切し後
 是不及所流しありと書母初婚し子あり是父兄弟に流し

武ヶ糸大書面へ書し

一 婿母終母初婚し子あり是父兄弟に流し是父兄弟に流し是父兄弟に流し
 流し後流しありと書母初婚し子あり是父兄弟に流し

河野清兵衛

二月六日

加茂清兵衛

書面へ母の婿母終母初婚し子ありは後流し書面へ母の
 妾後し子婿母ありと書しは流しは婿母初婚し子ありは
 是父兄弟に流し是後流しあり先書し子婿母ありと書しは
 母の婿母初婚し子ありは流しは婿母初婚し子ありは
 ありは婿母初婚し子ありは流しは婿母初婚し子ありは

是父兄弟婿母終母在流し 婿母終母終母ありは文化十一年十二
 月十日毛利清兵衛より家督兄弟に書し川原清兵衛より同合しあり

吳父兄弟姊妹彼二十日忌十日云云在在亦同他家事
之時ハ中滅云々月十日ハ忌後文云々

書面ハ過云々

一 吳父兄弟姊妹云々子氏云々伯叙父姑忌十日後日十日云々
母方ハ月十日ハ忌後文伯叙父姑云々方云々甥姪中滅
忌後文云々氏云々

但伯叙父姑他家事云々時ハ甥姪云々方云々文忌後云々中滅
文云々

書面云々過云々

但書云々世ハ伯叙父姑他家事云々方云々忌十日
五歳云々甥姪云々方云々氏云々中滅父方ハ忌十日

後日十日母方ハ忌十日後十日云々

吳父兄弟姊妹之甥姪

一 吳父兄弟之甥姪中滅之後忌之日云々云々文化八年六月
月知事不知大目付伊豆河内等々同合

一 吳父兄弟之甥姪中滅之後忌之日後日十日云々大甥
姪之内他家事云々方云々氏云々中滅之後忌之日
云々又ハ一向後忌之日法云々不及云々

書面吳父兄弟之甥姪中滅之日後日十日云々大
甥姪他家事云々方云々氏云々中滅之日後忌之日

位右地地家々々々女之在取以る也後忌其新之々々
其女之在取入解五以死地地地以死也子公等之在取
以得也後忌其々々

二

吳父兄身之伯叙父姑之同合前同法

一 吳父兄身之伯叙父姑ハ甥也之方ハ伯叙父姑守取之後忌更

之右伯叙父姑ハ内他家之在取也其取以る也之取以る也後忌其是

一 吳父兄身之子大同士ハ流身也其在以る也其取以る也之取以る也

其在也後忌其也其取以る也

二ヶ条九書面之也其取以る也

嫡孫承祖

一 二

嫡孫承祖之妻弟嫡孫承祖之妻母之の文化元子年十月晦日
杉平之在取也其取以る也其取以る也其取以る也其取以る也

一 嫡孫承祖之在取以る也其取以る也其取以る也其取以る也

忌父之嫡孫之妻之史之祖父母之身後忌其也其取以る也

書面之也其取以る也其取以る也其取以る也其取以る也

沙法也

一 其身喪子之弟喪父死去之取忌其十日後十三日其取以る也

後嫡孫承祖之在取以る也其取以る也其取以る也其取以る也

後百六十日其取以る也其取以る也其取以る也其取以る也

書面々々海ハ媽孫水祖ニ在故ハルモ古母死去ニ其ノ卒
日十二月ノ後意々ハ

一 媽孫水祖ニ志祖父母方ニ親親按意々ハ在ハル者故今親
類按意々何ハ心ハルコトナ

書面々々海ハ媽孫水祖ニ成ハ志祖父母方親親ニ水祖若
々々海ハ割々々々表父母方ニ親親定成々後意々ハ

二 最子於居位々々表又々々最子と媽孫水祖ニ親親ノ寛政十一
未年九月七日赤川織部公地回施後々々同舎

小善信記

小善信長傳之文記

古之末古之末

同人表子

同

赤川織部之文記

古之末又信所

右ハ信所依古之末表方方々々續々ハ親々々母表子ハ 作付ハ
々々後親知信々々 古之末ハ表方々々入々々以後親知信々々表方
信 作付ハ親知信々々ハ親知表方々々切々々信々々信々々信々々
所見ハ信下ハ親知信々々親知信々々海内表 所見ハ小善信入信
作付極先追古親知々々付々々表方々々切々々信々々信々々信々々信
親知表表内表 所見ハ々々々々親知信々々表方々々信々々信々々
又信所表子熱親而信也古之末表方々々信々々信々々信々々信々々

右書父右書病死仕以長之又此所為後ハ家録中流在表
子身忌之日後即今日交す

書面ハ母ハ分地配為ハ長子ハ流為今日後十二日京

右書又此所為

所本九太與是後ハ日

日也

右父又此所為後中流仕長子ハ右書病死仕以長之
忌後ハ依少何交すハ右書ハ依中合中ハ以上

書面ハ母ハ父ハ長子ハ流為今日後十二日京

九月七日

右書川藏記

三

婦孫水紀ハ志ハ妻ハ之明報九年二月廿八日相平内孫ハ流為今日後十二
婦孫水紀ハ志ハ祖父母死去ハ的婦孫水紀ハ力忌之日後十二

月交中ハ右婦孫ハ妻ハ方ハ忌後ハ長子何出仕以長之

書面ハ母ハ婦孫水紀ハ志ハ妻ハ方ハ流為今日後十二

婦孫水紀ハ志ハ之の祖父母ハ長女ハ流ハ之ハ年早ハ不知八月日

四年右書ハ流為今日後十二日京

流婦子死去

婦孫水紀

流依長女流ハ之ハ婦孫水紀ハ流伯母ハ長女ハ流

書面ハ母ハ誰長女ハ婦孫水紀ハ流伯母ハ長女ハ流

長女ハ母ハ之ハ長女ハ流為今日後十二日京

流依長女流ハ流又ハ長女ハ流伯母ハ長女ハ流

ハ流為今日後十二日京

四

又

楊孫承祖... 六月廿一日... 楊孫承祖... 日教而已... 宜也... 書面... 楊孫承祖... 廿四日... 何某

六

楊孫承祖... 廿四日... 何某... 楊孫承祖... 廿四日... 何某

病... 楊孫承祖... 廿四日... 何某

一 右兄何某... 楊孫承祖... 廿四日... 何某

一 右兄何某... 楊孫承祖... 廿四日... 何某

一 右見何某子佐と祖父と嫡孫承継と申成りとの事ハ後身と
續て申成り申成り祖父と嫡孫承継と申成り申成り後
身と申成り申成り

右の事ハ何れ申成り申成り

何れ法外申成り

何れ法外申成り

十一月廿四日

書面と申成り

七 祖父と孫子の嫡孫承継の事ハ元文二年 尾張預
備職附の孫承継と申成り

父別家と申成り申成り祖父と孫子の事ハ元文二年
祖父と孫子の事ハ元文二年 祖父と孫子の事ハ元文二年

嫡孫承継と申成り申成り

書面父別家と申成り申成り

この事ハ嫡孫承継と申成り申成り

八 嫡孫承継と申成り申成り元文二年 小書法承継の事ハ元文二年

一 嫡孫承継と申成り申成り元文二年 小書法承継の事ハ元文二年

文と申成り申成り嫡孫承継と申成り申成り

この事ハ嫡孫承継と申成り申成り

嫡孫承継と申成り申成り祖父と孫子の事ハ元文二年

親類と申成り申成り嫡孫承継と申成り申成り

九 嫡孫承継と申成り申成り元文二年 小書法承継の事ハ元文二年

十二月十八日 何れ法外申成り申成り

嫡子何某娶後之男子初生嫡母之喪以何某之嫡子何某
 某病卒之嫡子退身仕以何某之嫡母之喪以何某之嫡母
 禮之仕以嫡母死之何某喪母之定以何某之嫡母之喪
 在何某之上之遠近在何某不仕以何某之喪令初之喪之
 在何某之上之遠近在何某不仕以何某之喪令初之喪之
 一百六十日之喪令何某之喪令何某之喪令何某之喪
 書面之何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 之喪令何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪

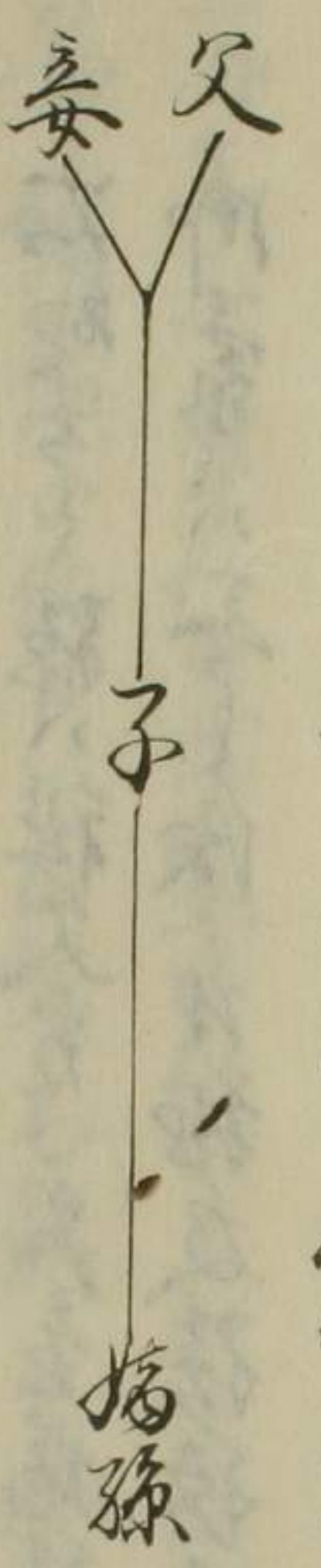
己月十八日

何某嫡母之喪

十

嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪

嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪



嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪
 嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪

十一月廿三日

何某嫡母之喪

書面之何某之嫡母之喪

十一

嫡孫何某之嫡母之喪令何某之嫡母之喪令何某之喪

婦孫承徳古能ハク古能ノ中ニシテ天保六己年十月招年
紀傳事家東市川仁壽不安後ハ古能ノ同合

一娘入解七九孫初生ノ後聲不熟ノ實可ハ高孫モ古能ノ上
娘丹ニ歿シ改書育主五孫母方ニ祖父ノ婦孫承徳モ古能家
智波古能ハ初ニ時ハ孫ノ實父ハ定武ノ忌波父ニシテ初父
方親親モ城ノ忌波モ古能ハ母方ノ親親定武ノ母忌
孫ノ古能ハ初ニ祖父家智波古能ハ母方姑ハ母ニ遊シ中ハ
書面ニ遊ハ孫初生ノ後不熟ノ身入解七実母ハ古能
古能生ニ孫ハ祖父方ニ古能高孫承徳改ハ依
入解家ハ古能ハ依ハ初友接取ハ

三

古能ハ初聲孫子ハ初ハ初古能ハ初聲孫子初孫改ハ

後男子初生ハ初男子ニ祖父ノ婦孫承徳モ古能ハ初聲ノ中
文政二卯年十月廿六日小京東甲斐寺家東市川仁壽合意
一古能ハ初聲孫子ハ初古能ハ初聲ノ中聲不熟ノ身離家ハ初孫高古能ハ
徳孫ハ初聲ノ中初生ハ初男子ハ初聲ノ中婦孫承徳ハ初聲ノ中
書面ニ遊ハ初古能ハ初聲ノ中

工
後身

一古能ハ初聲ノ中初生ハ初男子ハ初聲ノ中婦孫承徳ハ初聲ノ中
徳孫ハ初聲ノ中初生ハ初男子ハ初聲ノ中婦孫承徳ハ初聲ノ中
書面ニ遊ハ初古能ハ初聲ノ中

一

取小日下日を急仕仕候也此在候也又太直報中來候所
入候也此日下日を急仕仕候也此在候也又此日下日を急
仕仕候也此候中候上

書面候通八下日候急仕仕候中候申若來候九時迄候
此日下日候急仕仕候九時迄候此候申若來候九時迄候

八月

何部勤取也

二
伯父他家直候其子後身女也此其後身女也此後身女也
此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也
此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也

以上候元

松後身女今此日候急仕仕候申若來候九時迄候此候申若來候九時迄候

此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也
此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也
此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也

六月廿日

柴田之太也

松後身女為九時書後身女若候申若來候九時迄候此候申若來候九時迄候
此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也
此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也此後身女也

半減

急下百也

六月廿日

後三百也

六月廿日

此後身女也此後身女也

六月廿日

宗田之古也

書面之趣ハ接合ニ今

右同合書付惣行不直ハ別紙ト有之
附テ掛リハ致取附
方之側ニ今之趣以下ノ札
右十部ノ及接合ニ依リハ後ト
脚同合書付惣行不直ハ別紙ト有之

三

後身同士史婦ニ成ルル不熟
之趣ハ右ノ文取之
右年八月月日
右節流ルル来以ノ保少
右女ナリ
右同合

後身女ト縁組ハ多ク
嫁娶ハ右ノ上ノ不縁
ハ新縁仕ルルハ
之趣ハ右ノ後身之趣
ハ右ノ也

書面之趣ハ一且配偶ハ
右ノ上ノ後身ハ接合ニ今

四

其ノ身見ノ書子
右實附控書
右後身後身女
右成候ノ書
右文取
右年六月廿日
右宗田之古也

尚甲斐守
右同合書付惣行不直ハ別紙ト有之
附テ掛リハ致取附
方之側ニ今之趣以下ノ札
右十部ノ及接合ニ依リハ後ト
脚同合書付惣行不直ハ別紙ト有之

表方

尚

一 後身

右年甲斐守

其方附

右同合書付惣行不直ハ別紙ト有之
附テ掛リハ致取附
方之側ニ今之趣以下ノ札
右十部ノ及接合ニ依リハ後ト
脚同合書付惣行不直ハ別紙ト有之

表方

尚甲斐守

一 後身

柳氏結之也

柳氏包之也

右名大高守
右甲斐守
右結之也
右包之也
右所結也
右表方

中身重男甥之續在故山如尚古系更依兄先古系更
其子之在故山對古系更弟之續在故山依之古系更弟之
式忌之日後七日之山如古系更

但甲雙子孫孫之血色之新方分尚古系更依之古系更
叙父之續之山在古系更叙父之或之續更更中如尚古系更
兄之古系更在故山對古系更弟叙父之或之續更更日後十日之
存心志古系更更方之甥之續更更之依之山如古系更

尚甲雙子孫孫之血色之新方分尚古系更依之古系更
其子之在故山對古系更弟叙父之或之續更更日後十日之

和山之位

妻

日
一 流身女 其言性

右山位

柳沢伴舞子

妻

右山位
尚甲雙子孫孫之血色之新方分尚古系更依之古系更

兩人

右山位人尚甲雙子孫孫之血色之新方分尚古系更依之古系更
其子之在故山對古系更弟叙父之或之續更更日後十日之
存心志古系更更方之甥之續更更之依之山如古系更

尚甲雙子孫孫之血色之新方分尚古系更依之古系更

日
一 流身 其言性

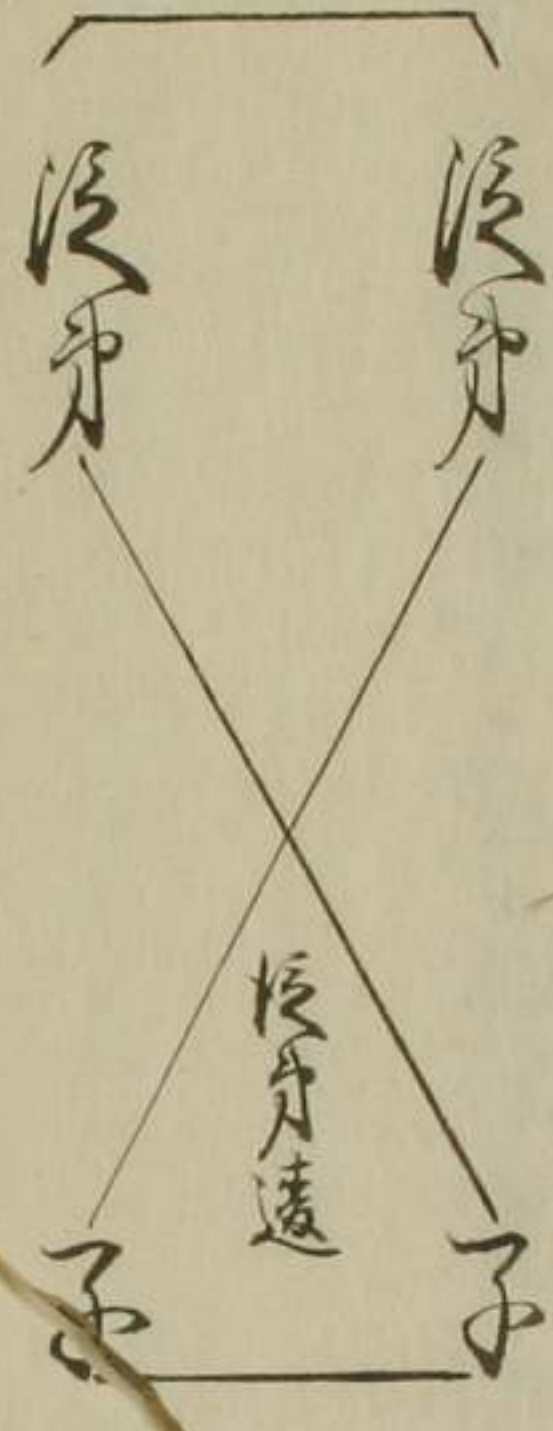
尚依理更德依
中川隼人
為
柳生從馬子

又

右為人左為甲雙子陽居故亮山妾後之書之書ハニ成外子
尚右為更書之書ハ可謂之續之書成外子尚右為更書之書ハ
成外子之續之書成外子之續之書成外子之續之書成外子之續
之續之書成外子之續之書成外子之續之書成外子之續之書

書面ハニ系布文并他書在據忘書面ハニ無之ハ

後身ハニ子同士續ハニ文化十一年四月十八日阿部清光
加後清光ハニ柳原華ハニ助ハニ同合ハニ系ハニ



又後身

右系ハニ無後身ハニ子ハ後身遠ハニ唱後身ハニ子同士也又後身ハ

唱ハ後ハニ山原ハニ

書面ハニ無之ハ

テ

七歳未後

一 七歳未後ハニ同ハニ父母死去在急件年七歳ハニ在成外子ハニ實及
十未年十二月廿二日尾刈云 所成附ハニ權田十番高ハニ同合

小兒七歳ハニ同ハニ父母死去在急日教八歳ハニ掛リハニ在
又十日十二ヶ月ハニ急被結ハニ在

書面ハニ無ハ七歳ハニ同ハニ父母死去在急日教八歳ハニ春ハ
成外子ハニ在急日教ハニ別合ハニ據忘更ハニ不取ハ

右例書

寛政七卯年九月廿一日松平被前守方分被忌固合

年月日辰分有く小児八輩に五成り好く被忌定式に趣更り給ふ

但年月日辰分に在り先母を春元月に八輩に好く被忌定式に趣更り給ふ

書角に趣更り給ふに八輩に春元定式に被忌に趣更り給ふ

一 七輩未満に小児父母死去に時を又十日を趣更り給ふに趣更り給ふに同

年に被八輩に五成り好く被忌日數に分忌に五成に被十二月に文に給

又に八輩に五成り先七輩未満に同によりに趣更り給ふに趣更り給ふに又十日

を趣り給ふに趣更り給ふに

以上に趣更り給ふに趣更り給ふに

右に趣更り給ふに趣更り給ふに

松平被前守周

大道寺七右馬

九月

再固合

寛政九巳年松平被前守方分被忌固合

一 七輩未満に小児父母死去に時を又十日を趣更り給ふに趣更り給ふに同

年に被八輩に五成り好く被忌日數に分忌に五成に被十二月に文に給

又に八輩に五成り先七輩未満に同によりに趣更り給ふに趣更り給ふに又十日

を趣り給ふに趣更り給ふに

右に趣更り給ふに趣更り給ふに

松平被前守周

大道寺七右馬

書角に海に七葉未滿の内父母死去後以均を又十日を
為る年と被八葉に成る日教子別言

右例書

寛政十年年正月九日卒於或部中補不後忌園合

一 小児七葉に書押借續て去後死去以七葉未滿及忌後

而後以均先大死去忌日教翌年以被以均に大少児八葉に成

成以均残日教忌後文す可也

但七葉未滿に去死去に忌後日教翌年以被以均に年

上り忌忌後八文す可也

右に海に回合中以上

正月

卒於或部中補

書角に海に但書七葉に書押借續て死去以均一日に
存為るに海に上り八葉に春に後忌に日教残以均也
後忌不及以均

二

七葉未滿に娘有るに大娘に書押借子に死去以均に寛保二年
加茂高尾に被忌園合に後後書すに同

朽木山城守
能勢三郎
島井頼貞
松平信直

誰

以者依七葉未滿に娘有るに大娘に書押借子に死去以均

大書角子

大書に在りて大娘七葉未滿に娘有るに大娘に書押借子に死去以均

州治に徳を以て長祖文に娘を養父に嫁けり不重嗣因に伯母
多のへくは伯母伯母に接合するに
下ケ札封書に海市河に札に書面山附札に書面
海下ケ札封書

封ケ札

書面へ海に書文に孝に成る祖文に娘未嫁を不重
親友の書面を札封書に書面伯母に書文に接合
但継令親友に書文に有るに先嫁依不重嗣因に書文に
右圓合書封ケ月止二百餘勢に書文に書文に書文に
是右親六月六日任書文に書文に書文に書文に
大山附札に書文に書文に書文に書文に書文に

三

七夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日松浦城前より同舎

孫死去 享年一日

書面へ海に書文

從七夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日

四

七夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日松浦城前より同舎
初夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日松浦城前より同舎

七夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日

一 七夜前孫死去の事

書面へ海に七夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日
擇文へ海に七夜前孫死去の事昭和二年六月廿二日
此の事擇文へ大人同紙を別紙へ

一 踏合

書面〜毎ハ前來同所ニ奉別 仍水邊等ニ云々

一 七軍束満ニ去改葬掘起ル日葬ル日

一 七軍束満ニ去死去ニ急日救取ニ云々 掘起ル日

書面〜毎ハ改葬掘起ニ奉九有及ニ云々

大少何有也 仍ニ掘起ル古也 奉大人死去ニ時ニ七軍束満ニ去

ニ方ハ少何有也 仍ニ掘起ル古也 奉大人死去ニ時ニ

書面〜毎ハ七軍束満ニ去ニ方ハ大人死去ニ時ニ奉九

前來所礼同所ニ云々

但父母改葬ニ急ハ掘起ル日葬ル日先一日ニ急ニ云々

河野清九郎

六月廿四日

初夜瀬在也

所用改葬前夜七月十日社山内祀ル河内等上

伴友河内等

依此等古也

水邊中野

別紙七軍束満ニ去死去ニ時ニ同所合踏合改葬掘起等是

急方ニ依河野清九郎ノ同所合踏合ハ其河内等ノ急方ニ

接取仕ル例ニ云々 仍ハ掘起ル古也 奉大人死去ニ時ニ

何ハ前夜掘起ル日葬ル日先一日ニ急日救取ニ云々 掘起ル日

掘起ル日ニ急日救取ニ云々 掘起ル日先一日ニ急日救取ニ云々

去後一相之日水邊等ニ急方ニ及及ニ云々 仍ハ掘起ル日葬ル日

急仕りたるを急ぎ又を急仕りたる高而仕りたり以後ハ急を
不取致し事存り大人死去の時七葉未滿の方ハ去張回行
心乃之父母之故を死去年月と經り水乃丸園行日より卒
日を急仕り事定まり改葬之儀振起し日暮り日在急仕
三統事存り月別紙回合書附札之趣挨拶仕り是迄事言り也
例在也存り月別紙上と在り以上

七月

二名

又

七葉未滿之娘死去を急ぎ葬送しり文化九年七月廿日松平
山城守家来船揚共古吏小大月日侍夜河内守同合

山城守娘死去仕り急七葉未滿之日在急仕り大遣難を
急ぎ葬送仕り存り山城守家来之日又ハ急仕り節之日

山城守家来船揚共古吏小大月日侍夜河内守同合

松平山城守家来

七月廿日

舟揚共古吏

書面之趣急七葉未滿娘死去を急日殺し葬送し是日七

葉未滿之日在急仕り

六
七葉未滿之小児死去父母を圓り水乃時より寛政二年七月
十日日橋系丹後守家来多胡以高比麻乃神保長岡同合

七葉未滿之小児死去父母之日在急仕り父母を圓り日殺し
是日廿一日在急仕り山城守家来月別紙兼事同合以上

橋系丹後守家来

七月十日

多胡以高比麻

書面一連ハ七歳未滿ハ小児ハ後意云々ハ父母ハ二日在
之息云々ハ但七歳未滿ハ小児死云々ハ方在云々ハ日教云々ハ
以テ之を意云々ハ不及日教ハ紙ハ日教を意云々ハ

七歳ハ言ハ八歳ハ春ニ成ルル後意云々ハ別意云々ハ文化江知
年二月ハ小児大脳病ニ死スル後意云々ハ別意云々ハ同合

七歳未滿ハ小児ハ云々ハ為年ハ生ニ志云々ハ十二月晦日迄七方
未滿ハ云々ハ二月晦日ハ忌後云々ハ依云々ハ

但年同合ハ云々ハ十二月晦日ハ忌後云々ハ依云々ハ

本文他書一連ハ八歳ハ二月より後意云々ハ

同年同人同合

七歳未滿ハ志父死去ハ十日在云々ハ仕内ハ別意云々ハ

書面一連ハ七歳未滿ハ云々ハ父を意日教ハ同ハ八歳ハ

成ルル後意云々ハ別ハ十日ハ云々ハ

七歳未滿ハ志ハ母育後父母言後父母ハ兄弟同士ハ父母ハ

急在國ハ云々ハ八歳ハ春ニ成ルル後云々ハ文政元元年六月十

日同合豊後藩云々ハ東平地大ハ八歳村忠云々ハ同合

是

一七歳未滿ハ小児母育後父母言後父母ハ云々ハ

書面一連ハ云々ハ

一兄弟ハ云々ハ七歳未滿ハ云々ハ云々ハ

書面一連ハ兄弟ハ云々ハ一日ハ云々ハ

一七歳ハ志ハ親死云々ハ時ハ七歳ハ志在國ハ云々ハ八歳ハ

春承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後
その初親親之忌日教之内承初仕仕先残日教之忌
後後之及之及を承承も不及也

但七歳未届之志父母之志急中八歳之春成りて残日
教之忌日承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後
母子死去父母之志急中八歳之春成りて残日教之忌後
承承も不及也

書面之承承也

但七歳未届之志父母之志急中八歳之春成りて残日

教之忌日承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後

母子死去父母之志急中八歳之春成りて残日教之忌後

承承も不及也

因友豊後守家来

六月十日

平野大八

九

七歳未届之志父母之志急中八歳之春成りて残日
教之忌日承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後
母子死去父母之志急中八歳之春成りて残日教之忌後
承承も不及也

但七歳未届之志父母之志急中八歳之春成りて残日

教之忌日承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後

母子死去父母之志急中八歳之春成りて残日教之忌後

承承も不及也

但七歳未届之志父母之志急中八歳之春成りて残日

教之忌日承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後

母子死去父母之志急中八歳之春成りて残日教之忌後

承承も不及也

但七歳未届之志父母之志急中八歳之春成りて残日

教之忌日承初仕仕母之父母之承承日十月十二日之忌後

母子死去父母之志急中八歳之春成りて残日教之忌後

七歳未滿年死去日教之由は其を遺るを急ぐ所あり接投仕
來り例に由る七才未滿年之由は其を遺るを急ぐ所あり
張り日教之接投仕より七歳未滿年之内より接投仕の由あり
受付日不定式之接投仕より父母之由は別布由之由改る
を急波のら七才未滿日教之由より遺るを急ぐ所あり例
接投仕被乞の由あり仕事存の父母之由は祖父母伯叔父姑を
亦親類七才未滿年死去八歳之由は改るを急波の
所あり以後接投仕は是返回合の向ふ初より接投仕の由
一海り甲上並の由

六月

伴友河内守
依地守七男
水代中務

十

実方妹七歳未滿年死去之時より天保三年二月曾有馬
其居以家來留家并七男之松平村馬より同合
有馬其居以家實方妹滿右衛門娘死去七歳未滿年之内其居
以依家より由る由あり一日之を急仕の例に在り此後其居
其居の由あり

有馬其居以家

二月晦日

家來并七男

書角一海一日之を急ぐる由

十一

他家に在りて其七才未滿年之由は其を遺るを急ぐ所あり
一七歳未滿年之由は其を遺るを急ぐ所あり
一七歳未滿年之由は其を遺るを急ぐ所あり

急下口小止又突見才甥姪一日を急に仕込書子の成りし中城
に接巻るるに故半日を急に中城に在るは故書知事幸留の上
書向に趣ハ七才未滿の子他家古流に居るに在故に母
と二日を急に中城に寄り後伯父一日に在急に
双才七才未滿の時一の昭和二十一年十月井上と親友高宮隆
後江島大井伴舞との同舎
双才七才未滿の時一の急に後流に中城に在るに一日に在急に
仕込の故に在急に中城に在るに一日に在急に

十月

井上と親友高

宮隆江島

書向に趣ハ七才未滿の時一の急に後流に中城に在るに一日に在急に

丁日を急に中城

十三 父死去故に在るに大和生を急に後流に中城に在るに一日に在急に
又月海の大和生を急に後流に中城に在るに一日に在急に

書向に趣ハ七才未滿の時一の急に後流に中城に在るに一日に在急に
又十日に在急に中城に在るに一日に在急に

尸 血荒 孫流産

一 血荒流産に在るに故に急に中城に在るに一日に在急に
七月急に後流に中城に在るに一日に在急に

一 血荒 流産

形骸よりこの病流産形骸より血荒也此後流産之
ハ他書ニ遠産仕ル者然レテ血荒ハ物然ル者ニ也
書角ニ血荒ハ血荒遠産ハ遠産ト云ルハ流産也

死骸ニ形骸よりハ遠産より云々ハ物然ル者ニ也
又月十六日織田初雲より家来云々産後之妻ハ同合
一妊身仕ル月ハ満ル不満云々各別及十月月ハ胎肉より
死骸よりハ時ニ遠産より云々ハ物然ル者ニ也

書角ニ血ハ月輪ニ各別死骸ニ形骸よりハ流産ニ
一生産仕ル者然レテ死骸より云々ハ物然ル者ニ也
尸骸ニ死ル者ハ胎肉ニ各別死骸より云々ハ物然ル者ニ也
書角唱方ニ胎肉ニ各別死骸より云々ハ物然ル者ニ也

六月十六日

織田初雲より家来
云々云々

改葬

一 婦子ノ忌明け後遠産至所ニ急接身當日一日を急ニテ
未年六月十八日在り山近江守家来河内在年ハ松平對馬守ニ同合
近江守婦子初産身去月晦日死去十九日近江守忌中在年
明後十日忌明けハ初産身同日初産身遠産至所ニ急接
仕ル身忌明けハ當日一日を急ニテ在年ハ

書角ニ血ハ婦子ノ忌明け後初接身ニハ物然ル者ニ也
改葬ニ在年一日を急ニ

遠般火葬遺骨之在者其形也古火葬所計先年以方ニ養古之妻
古養所寺内ニ切斷詔仕所也改葬回祇を急等仕所也之文
寛政十二年ノ内高祖元百二年二月大月付修及河内也

遠般火葬仕遺骨之在所ハ其形也古火葬仕所所計先年
以方ニ養古之妻ハ其形也古火葬所同寺内ニ切斷詔仕所也改葬
回祇を急等仕所也

一 父多白との主ニ改葬仕所也之を子を急等ニ仕所

書面ニ趣ハ改葬回祇一日ニを急ニ仕所

書面ニ趣ハ改葬之切斷不務也ハ其の子を急ニ仕所

先祖ニ妻遠般里方ノ守ニ妻也其所以夜改葬ノ所先祖回祇一日
を急ニ仕所也之寛政十年年七月十日成瀬吉親ハ地回祇也

一 拙意先祖ノ方ニ嫁所ノ妻也遠般里方ノ守ニ妻也其所以夜
ノ里方ニ改葬仕所也先祖回祇拙意一日ニを急ニ仕所也其回會

七月

成瀬吉親

書面ニ趣ハ不及を急ニ仕所

改葬ノ主ニ成所ノ守ニ妻也其所以夜改葬仕所也先祖回祇一日
を急ニ仕所也又七葉未滿ノ志改葬ノ時ニ文化十年二月
五日河内於法九家東如養漸也其不度母下ニ回會

他人ニ改葬ノ主ニ妻也其所以夜改葬仕所也先祖回祇一日
を急ニ仕所也其所以夜改葬主七葉未滿ノ時ハ其物也其又
七葉未滿ノ志改葬ノ時ハ其物也其所以夜改葬ノ主ハ其物也

其物也

阿部清九家系

二月六日

柳屋瀬江氏

書面にて通ハ他人より改葬之主ニ成ルル事ニ付テ
以テ下ノ事ニ急ガリ揚記ノ日ハ葬ル日迄日數ニシテ
揚記日ト葬ル日ト二日ヲ急ガリ改葬之主七歳未海
ニ的ハ父母ハ前同法ニシテ即ハ急ガリ七歳未海ニ去
改葬ノ時ハ主成ルルノ親類ヨリ他人ヨリ急ガリ
長徳母并叙母曾祖母又叙母權所管圓寺ハ葬立ルル
地盤也 作付ル付改葬也他ノ事寛政八年六月田村在
りり安斎村馬場也

長徳母并叙母曾祖母又叙母權所管圓寺ハ葬立ルル
同寺ニ葬立ルル同寺也 作付ル付改葬也他ノ事
牛込神樂坂ハ暫也 作付ル付改葬也他ノ事
以テ他ノ事以上

六月廿二日

田村在急葬

同廿七日對馬寺也

先達ノ事也以上ハ長徳母并叙母曾祖母又叙母權所管
圓寺ニ葬立ルル同寺也 作付ル付改葬也他ノ事
以後廿九日牛込神樂坂也 改葬也他ノ事
毎日急ガリ以テ他ノ事以上

六月廿七日

田村在急葬

同七月初日松平伊豆守也

長徳母并叙母曾祖母又叙母權所管圓寺ニ葬立ルル
同寺也 作付ル付改葬也他ノ事

坂田園寺に改葬仕仕候に松を急今日明日申に長福寺
に仕付の便志申候申上候以上

七月朔日

田村在東書

六

他人に改葬に主に在候に一日を急なる候に申上候書取に同合

又月十日林元徳に申上候長山に在候に申上候書取に同合

一 改葬に候他人に改葬に主に在候に一日を急なる候に申上候

是に改葬に候に申上候に急仕仕候に在候に大改葬に主に在候

候に在候に申上候に急仕仕候に在候に大改葬に主に在候

一 他人に改葬に主に在候に一日を急なる候に申上候に在候に

書取に候に急仕仕候に在候に大改葬に主に在候

右に通り候以上

林元徳馬に在候

長山に在候

六月十日

谷端在候

キ

一

初年三月死去申候絶追する主人に在候に在候他人に在候に在候に

寛政十二年十二月十日に梅屋に在候に在候に在候に在候に

初年三月死去申候絶追する主人に在候に在候に在候に在候に

他人に在候に在候に在候に在候に在候に在候に在候に在候に

初年三月死去申候絶追する主人に在候に在候に在候に在候に

以方家管古續之書子之流之接系文以方之流也之書也

佐野守左馬

書面之趣ハ此絶序書子之各月之書之趣也此絶序

絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流

書面月絶母忌二十日後九十日

類例書也

天明八申年二月四日

寛政七卯年七月廿七日

同年

同八年辰年六月

文化二丑年七月廿八日

初麻理傳書也

傳友河内守也

中傳友右馬也

小傳友左馬也

大傳友門也

三

十七年以下之古果子之書之趣也此絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
同姓之内分也 古家新親也切書之古果子之流也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
二日安返也古馬

十七年以下之古果子之書之趣也此絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
絶序古續之内分也 古家新親也切書之古果子之流也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
十七年以下之古果子之書之趣也此絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
古果子之流也此絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
古果子之流也此絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也

高六月

書面之趣ハ此絶序書子之各月之書之趣也此絶序古續以上之書之趣也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也
絶序古續之内分也 古家新親也切書之古果子之流也此絶序古續之書子之流也此絶序古續之書子之流也

切并石を重上ハ名経古流ハ叙付古果以志ハ父母
 并妻ハ先祖父母古母ハ後忌ヨリハ
 新徳ハ先祖ハ初功家筋有主人有命以名経古流中
 付新親知ハ在ハ的ヨリ文化十二年九月十三日岩橋伴隆与
 家東五分逸年ハ名経古流ハ同合

子多ク死去未終ハ古子も不在成年終ニ志成ニ故除ク叙
 々々家及所叙ハ叙其志先祖ハ初功家筋有主人有命以
 以親叙又他人ヨリも在ハ名経古流中付新親知ハ在ハ的ヨリ
 ハ古流古子ハ遠ハ有ハ在ハハ名経古流ハハハ叙後年
 叙多少ヨリハ叙長遠ハ古流ハ古子ハハハ叙古流ハハハ叙
 之ハ古流親叙古子ハハハ叙ハ叙後叙ハハハ叙ハハハ叙又ハ

名経古流ハハハ付ハハハ叙親ハハハ叙遠ハ古流ハハハ叙古子ハハハ叙
 叙別モテハハハ叙ハハハ

書面ハハハ名経古流中付ハハハ遠ハ古流ハハハ叙古子同叙表
 有父母ハハハ十日後十二ヶ月更ハ古流親叙志成ハ後忌ヨリ
 但宜月と相ツハ

名経古流ハハハ叙親ハハハ叙遠ハ古流ハハハ叙古子同叙表
 十月廿年記存ハ家東市川仁信ヨリ安友ハハハ同合

- 一 古流父
何ハ古流 死
- 一 古流子
何ハ古流
- 一 古流父
何ハ古流
- 一 古流子
何ハ古流

葛代

一 葛代古之厄分家紋等川流の時の夏天の己年八月七日
主膳正左衛門松平村島守上回合

苗字後流の之を今之元回姓之甥と云葛代古之厄分家
紋川流の時の葛代何也在也

書角之趣八回姓之甥葛代古之厄分家紋川流の時の
之は古流之書角の流之書角親類古之厄分家
之流之趣

二 抱替之志葛代古之厄分家紋厄分川流の時の文化十六年
己月十八日河野清九家東如友流流角分柳原集之助上回合

抱替之志葛代古之厄分家紋厄分川流の時の文化十六年
子之流之書角父母二十日十二月之流之趣之書角親類之
或之趣之書角

書角之趣

名字換汁

一 苗字と換汁之他は他流の志之見方之在月令之亦之有年
号不知六月十日中川角之助方上回合

一 以方後流の家東と他不可不之対候之志他家は存之流之
之志死去之故主人好家と云以方之志也別人は知流之志也

為在名系中以其他家に在るに去るに辨ては方々名子為在る
余中以去るに兄弟に續て在るに去るに何と見ると其心は後為る
義少何の如く其心は何と見ると

書面にて通ハ苗字換ハ斗々之に後為るに其他家に在る
去るに辨て兄弟に去るに去るに後為るに其心は何と見ると

二

母に里方親縁の母に依て去るに母方と苗字と去るに去るに其
政十二年十二月十日に親縁の母方と松平田宮に同合
一二男と在るに其母に里方親縁の母に依て去るに母方と名
字と去るに其母に在るに其父方と祖父母伯叔父姑等
兄弟姉妹と其親縁の母に依て去るに其母に在るに其
心は其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに

是又定式にて通縁系其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに

書面にて通ハ苗字換ハ斗々之に後為るに其他家に在る
去るに辨て兄弟に去るに去るに後為るに其心は何と見ると

何親縁の母に在るに其母に在るに其母に在るに

十二月十日

加茂徳良也

三

母方と名親及親縁の母に二男と在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに
其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに其母に在るに

二男の内母方へ名を承る者ありて力に仕官又と家業を
直之禮々系祀せしむる者ありて口紀の如き遺物に承る者
子に承る母方へ親親を承る定式は為後より父方親親の
実方へ承る者ありて為後と信言すべし又遺物に承る
世に分祀せしむる者ありて承る者ありて兄弟姉妹を承る者
は為後より父方

一 右名を承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
書面へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
母方親親を承る定式は為後より父方

一
子

一 親子へ承る者ありて書面へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
政十二年十月十七日并伴共親親を承る定式は為後より父方
書面へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方

親子承る者ありて書面へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
此の掛りたるは承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
何の方へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
親親を承る者ありて書面へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方
いふ一重の承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方

右書面へ承る者ありて母方へ親親を承る定式は為後より父方

勿論之義也心持其在前にては東より接取仕所を中より香
前文之趣程子接取所也所法受ハハ中亦仕東之流之致及接取
方其言ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
接取ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
依ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ

十月

口名

媿

一 媿と書女之不正聲也子いふ一ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
何ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ

一 媿子ハ妻と連ハ娘とハ生ハ後媿子死法ハ由ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
美ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
聲也子ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
又ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
上ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ

從ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
同接ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
書ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ

二 他より書女いふ一ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ
細川誠体ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ所法受ハ

他より長女のみ一その家へ嫁りいふ一は母を家へ返
 へ長子同様に長女一は別居を命書角一連一は少長女
 書角一長女一は一は嫁り一は女子と知少一は長女
 成長一は後嫡子一嫁り一は早産一は娘一は就
 中の長女一は一は嫁り一は一は

一 二
 嫡子死後娘と長女と一は聲長子嫡子一子一は聲長子一子同士

嫡子の娘と九女子が生後太嫡子と長女一は一は聲
 長子一は一は男子が生太男子一は嫡子一は娘一は後合一は配偶一は文
 化十一年八月二日而多長女一は聲長子一は初産一は嫡子一は同合

先



系一は一はと嫡子の娘と連女子が生後太嫡子死去一は一は聲長子
 願娘と長女一は一は聲長子仕仕一は一は聲長子一は死去一は嫡
 子一は長女一は聲長子一は女子一は一は叙父一は一は聲長子一は
 介長女一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は
 長子と叙父一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子
 一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子
 一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子一は一は聲長子

但子依每人之統之起りあるを父方より後身同士の事成母
方より其父見方と事成る人毎派之統ありし時ハ其子後
忌父方派之統一其父見方姉妹事あり配偶不事成候事
在り候を女子之為と之流父と唱り方之を以て其後身之統
子ハ父方之屬との之月親親書等より其後父方叔父後身
お惚の統あり
右ノ所事向ハ以上

此後豊前より事成

戊八月二日

新倉より事成

書面其系門之趣ハ其後身之先夫之女子ハ叔父後
統之統あり身分其方事成候事成候事ハ別統

子より先夫之女子ハ其後身之男子ハ其父見方
之月配偶不事成候事成候事

年祓之後日教本ノ月之程

長祓父之後年祓ハ其月其母之月ハ大小不報之時より寛政十一未
年九月朔日其母友其方ハ其後身掛上同合

叔長祓父死

長三十日
後百十日

右ノ趣ハ其後身之趣又後日教其申ノ二月迄其後身其母之月
ハ大小未お初し不中其母之何事候事ハ其母同合仕候以上
書面ハ其後身之趣

但後日教東申年迄紙より申五月六日
横山好水より日教歳日迄
但書之書相より存

右同所後年紙古成二月二月之大小不知時より寛政十二申年
九月七日松平右兵衛左衛門前右馬介後忌掛の同合

是後出仕の元忌後八月何日迄
教東三月迄
歳日迄
と在出仕の元忌後八月何日迄
と在出仕の元忌後八月何日迄
此取同合申上より上

書角より毎八月二月九日
横山好水より

此より日教歳日迄在成は後但書之書相より存

松平右兵衛左衛門

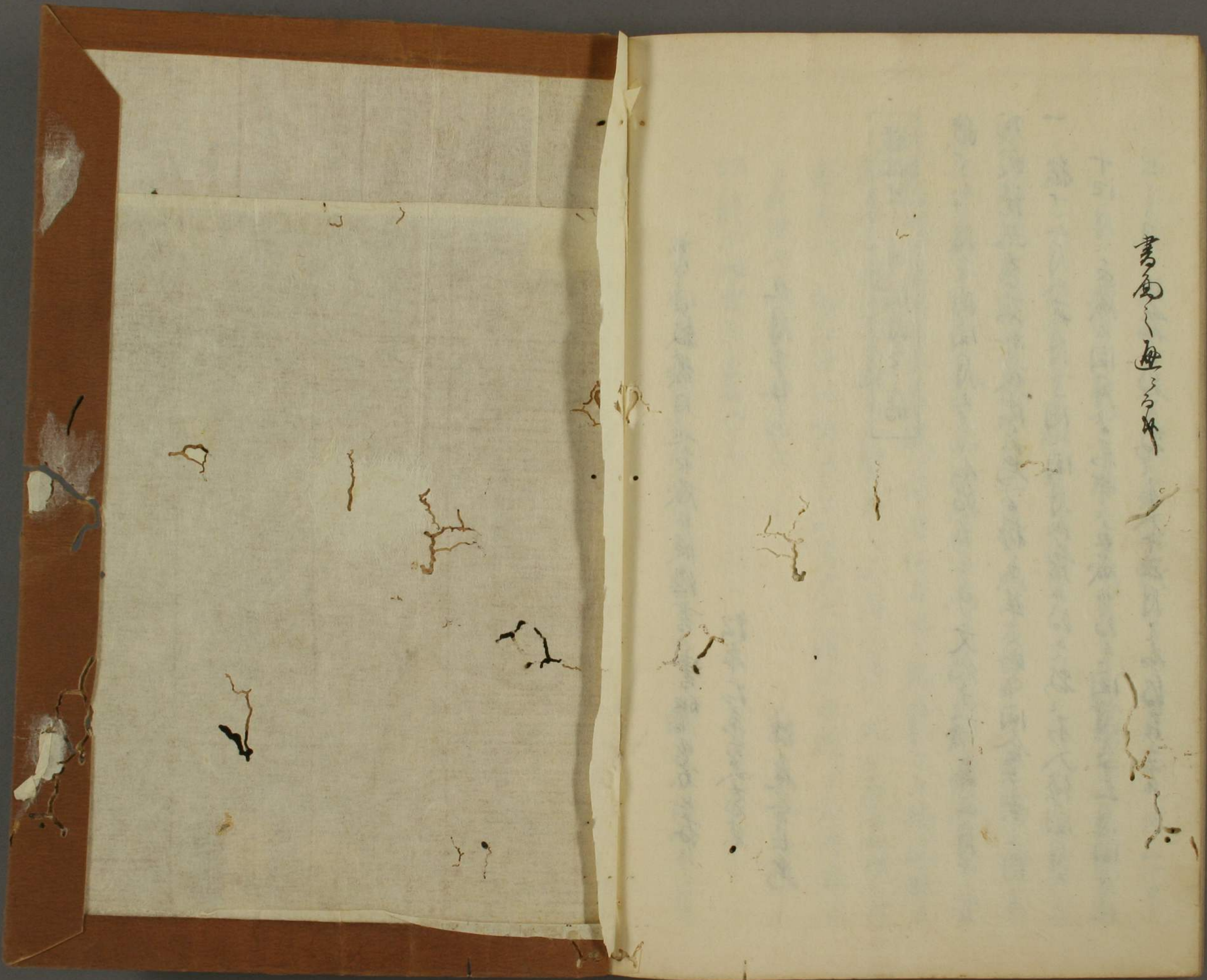
後尾介右馬

九月七日

股仕旦より月二日月迄の時

一 後十二月より同月迄の時
河野清九郎東本和友濃江馬介
一 後十二月八日其月より同月迄の時
不入倭国月九日

十月月迄成は同月迄の時
是より月迄在成は同月迄の時
不入十二月迄の時



書角一冊

